

歐洲の飛行機は直に太平洋に移動される

ヨーロッパに於ける米空軍参謀總長カール・エースパツツ將軍は今週從軍記者に「彼の配下の多数の飛行機と兵員は出来る限り早く太平洋に移動せらる」と述べた。

日本軍飛行機は米病院船を攻撃す

米軍病院船「カンボット」は沖繩の南五十哩の海上で日本の決死隊の飛行機に攻撃されたが、或る港に向き自力で航行中である旨ニミツ提督が言明した。

聯合軍は急速に日本空軍を撃滅す

日本本土に対する猛襲は、今始まったばかりだが、恐るべき戦果が現はれたとケエスター・ニミツ提督は今週言明した。最近の聯合國空軍は日本が再建し得るよりも速かに日本空軍を破壊してゐる。

ニミツ提督は米空軍は艦載機とB-29を以て九州地方の爆撃を續け、他地方も同



ミツツ海軍元帥

様に續々と叩きつけると言明した。今週米第二十空軍部隊は九州の空軍基地を襲撃した。其の大戦果は近く発表されるだらうと言明した。

この空軍部隊は最近占領された硫黄島から飛行する戦闘機部隊に護衛されて運送されたと言ふ。

國吉安雄畫伯 千弔賞金獲得

著名日本生れ畫家目下ニエーヨーク市の國吉安雄氏はベンシバルニア州ピッツバーグ市に閉居された米國油繪のカーネギー學院年展で一等賞千弔と授與された。

十四年間米國に於ける顯著な出品者である畫伯は日本の岡山出身であり十三才から米國の在住者である國吉畫伯の油繪は三百五十英の出品中で最上と審決された。

米戰鬥機硫黄島より日本内地襲撃

東京の西南二十五哩の地兵にある日本の最も大きい厚木飛行場は今週硫黄島を根據とするP-51戰鬥機の最初の帝都空襲に於て大損害を與へられた。

この攻撃は日本軍の不意を打つた。米軍航空本部が発表した米軍當局においてはこの攻撃に参加した機数は未だ発表してゐないが東京のラゲオは戰鬥機五十機とB-29が三機参加してゐたと放送した。

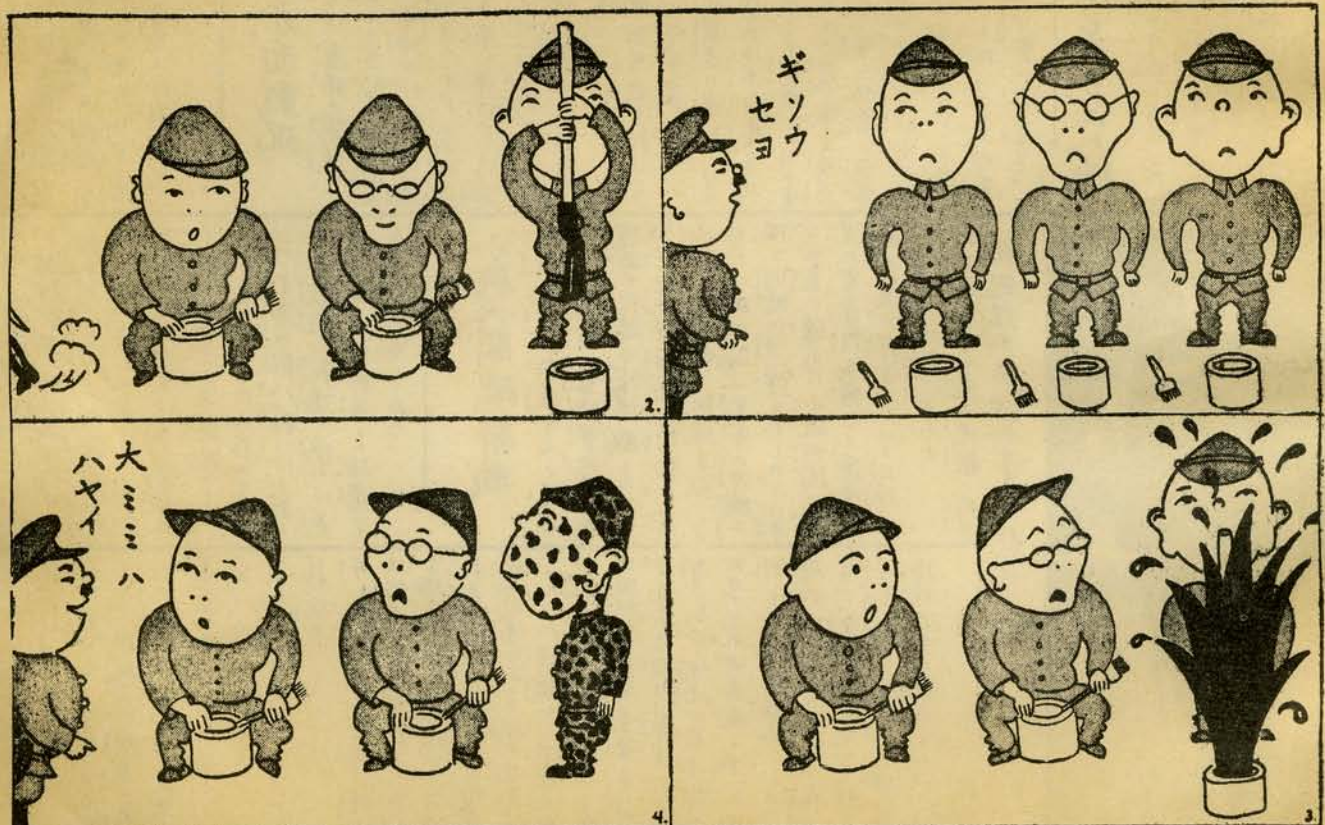
日本の航空機八十四機はその時損害を蒙つたがそのうち二十六機は飛行場において爆破され、二十一機は空中で射ち落された。この東京湾上空で射ち落した兵輸送機二機も含まれてゐる。

米軍飛行機の損害はまだ発表されてゐないが不意に攻撃したため損害は軽微と豫想されて居る。最初高射砲は緩慢であつたが空襲が猛烈になるにつれ日本軍の火網も熾烈になり且正確になった。

廣告

日本軍の諸が琉球週報の吾界大勢のニュースに相當の興味を持つて居るの近いうちに人氣のある**ハワイ日本語新聞**を配布します。

卒兵耳大と尉大瓜南



ギソウセウ

大ミミハハヤイ

琉球週報

(第四號)

ドイツ降伏す

當局者戦後の和解熱望

ドイツは今週の月曜日にアメリカ、イギリス、フランス、ロシアに無条件降伏した。この降伏に依つてヨーロッパに於ける五年八月と二六日かのつた戦争はここに終息した。ドイツの全權委員たるドイツ陸軍参謀總長ヨードル大將に依つて調印された。聯合軍調印者は米軍参謀總長ワルタースミス中將、露軍のイブアンススロパラフ將軍、佛軍のフランススワスベイ將軍であつた。

ドイツ外務大臣ボンクラセケはこれを全ドイツ人に宣言し、令を發してゐた。彼は下ドイツは總ての國から得たので、これから國際法に従ひ他國から尊敬される様な力には如何ともする事が出来ぬに再建しなければならぬと述べた。

さうに彼はその演説においてドイツ元帥がヒットラーに對して總理大臣に就任したと余表したが、これより二三時間前にドイツ元帥はドイツのすべ

あるがそれとも仕方がない。最後に彼は聯合軍と調印した講和條件を果す義務があることを強調した。



マクサー陸軍元帥

フィリッピン戦況

フィリッピンで最後まで再戦されなかつた最も重要な都市ミンダナオ島のダバオ港は先週米軍第二十四師団によつて占領された。ダバオはフィリッピン第二の大都市である。

ミンダナオ島に残つてゐる日本軍はダバオ東北の山地帯に退却した。其所では日本軍が対し米軍部隊がフィリッピンゲリラ部隊は猛烈な掃蕩戦を開始すると豫想されて居る。

沖繩戦況

先週沖繩島の南端における戦闘に於て日本軍は相変わらず大損害を蒙つた。五月十日までに日本軍の第六二師団は殆んど全滅し、第二十四師団の兵力も急速に低下してゐる。

沖繩島南端に於ける日本軍の戦死者は約四万に上つた。米軍歩兵部隊の前線は那覇首里嶮と那覇を圧迫して居る。

支那方面戦況

スチエイル道路の開通に伴ひ印度より支那への兵力及軍需品の補給が非常に増強された。これに拘はらずアジア大陸における日本軍の陣地はますます強靱であり、アジア大陸の重要港湾及び飛行場もまだ日本軍の手中にある。

今週支那軍高等司令部は併表して曰く、支那軍は米空軍の援助を受け重慶の東南二百里の地兵にある米空軍基地に向つて四方より攻撃中の日本軍を退却させた。その日本軍を退却させたため支那軍も相當の損害を受けた。日本軍は約三千の兵力を失つた。日本軍はここで喰止のられたにも拘らず支那戦線ではまだ攻勢に出て居る。

英軍ラングーンに入城

英軍はビルマの首府ラングーンに入城したと極東軍司令官部よりの通信は發表した。英海軍陸戦隊は水曜日の早朝首府の南二十哩ラングーンの河口一帯に續々上陸した。これ

に依つて日本軍は海上の反軍と遮断され死地に陥つた。その数人々三万人に及ぶ最近占領されたマンダレーからラングーンへの英兵の進軍は事實上日本軍をビルマから掃蕩した。ラングーンは北二百四十哩に日本軍の戦線部隊があつたが最近の報道に依れば英兵はこの戦線部隊を掃蕩する為め進軍してゐる。

小磯内閣総辞職

最近東京の發表するところによれば總理大臣陸軍大將小磯天皇陛下は海軍大將鈴木貫太郎に新内閣の組織を命じた。小磯内閣は米軍の沖繩上陸と同時に退陣したもので日本の奔表に據れば小磯内閣は戦況の重要性を感じて退陣し、鈴木貫太郎代によつて又強力な内閣が組織される。

鈴木貫太郎は七十七歳の老翁で、昨年新總理大臣に就任した。



八月秘密院長就任して約二年間は隠退してゐた鈴木貫太郎は政治界に平和の愛好者であり又軍閥の反対者であつた。鈴木貫太郎は非常な軍部反対論者であつた。昭和十二年二月に起つた二二六事件の時、軍人殺害重傷を負つた。其の當時彼は待従長に就任した。この二二六事件を指揮してゐた若し將校連は鈴木貫太郎が天皇陛下に平和論を進言してゐると信じてゐた。

鈴木貫太郎の家に侵入した数名の將校の刀傷によつて彼の生命はあぶなかつた。辞職した總理大臣小磯天皇陛下の経歴は異つてゐる。彼は昭和七年に閣内閣参謀長となりその後彼は日本軍部の指導者となつた。強硬に南進論を唱へたので、これが米英と衝突する原因となつた。普通知られてゐる小磯氏は日本にも稀な強硬論者で昭和十九年七月二十二日東條英機大將の後を継いで内閣總理大臣に就任した。

Illustration:

A photograph of General MacArthur and Premier Suzuki appear on the first page. On the reverse side there is a photograph of Admiral Nimitz as well as a cartoon in a form familiar to Japanese readers.

Text:

Germany surrenders; leaders plead for post-war cooperation--American 24th Division occupies Davao--Not much change in Okinawan situation as Americans continue slow advance--Chinese troops repel four-pronged Japanese drive 150 miles southeast of Chungking--British enter Rangoon--New shake-up in Japanese cabinet; Suzuki assumes control--American air power in Europe to be immediately transferred to Pacific--Japanese air units attack American hospital ship--Allies destroying Japanese planes faster than Japan can produce them, says Nimitz--Japanese artist wins Carnegie Foundation Art Prize--Iwo Jima based fighters attack Japanese homeland--Special Notice: Because of interest in the "Ryukyū Weekly", back-issues of a well-known Hawaii Japanese language newspaper will be distributed in the near future.

(Cartoon) The three privates are at attention with their paint cans ready as Captain Pumpkin-head barks the stern command: "Camouflage!" Two of the privates proceed to open their cans by orthodox means but Private Big Ears rams his rifle through the can with the result as indicated. The captain returns and praises Big Ears highly for his speed.